

CAREER  
DESIGN

05

# 極めたい！その一心で 金属加工に情熱を注ぐ



鋭い眼差しでパーツを確認する

パネルを素早く操作。ガタツと大きな音とともに工作機械が動き出す。目の前の金属にレーザーが縦横に描く軌道を鋭い眼差しで見つめる。1枚の鉄板から、多くのパーツが切り取られた。一つ一つに定規を当て、誤差がないか、入念に確認。

あらゆる機械やその部品類は、工作機械から生み出される。工作機械を操り、無駄を抑え、正確な部品を作ることが、製品の競争力高め、ものづくりを支える力になると自負している。

高校で機械加工を学び、切削が面白いと入社を決めた。コンピュータ制御で自動運転する工作機械を見たのは、入社後。すぐさまその魅力に引き込まれた。

現在は、金属を切り抜くコードの作成と切抜を担当しているが、溶接や塗装などの工程も把握するように努めている。他の作業を知ること、視野が広がる、アイデアも浮かぶ。新しい工程を加えることで、効率があがるのであれ

ば、直ちに実行する。作業が増えた分は無駄を減らせばいい。

わからないことばかりだった入社当初。周囲に聞く回数も徐々に減り、自分なりに考えられるようになるにつれ、自信が芽生えてきた。「原因のない不良はない。論理的に考えれば答えは見つかる」。先輩の言葉が心に刻まれている。今日もその言葉を胸に、目の前の機械と正対する。金属加工を極めたい。熱い気持ちを鉄に注ぐ。

## 小川優太

2014年入社。  
高校時代から、技術の追求に喜びを感じてきた。「自宅でも、仕事の道具を揃えて研究しています」。

株式会社亀山鉄工所

【業種】製造業  
(工作機械、カバー等部品)

504-0957  
各務原市金属団地218

<http://www.kiw-jp.com/>

